

## GPS/JIPS 安 全 性 要 約 書

安全性要約書は化学品の安全性に関する総括的、基本的概要を提供するものであって、詳細なヒト健康への影響評価、環境への影響評価、使用上の注意、緊急時の対応等を目的としたものではありません。詳細な物性、安全性、取扱い情報に関しては、この製品の「安全データシート (SDS)」をご参照ください。

### 製品名 (PRODUCT NAME)

トヨパラックス A50

((長鎖) 塩素化パラフィン、(Long-Chain) Chlorinated Paraffin)

### 1. 製品の概要 (PRODUCT OVERVIEW)

- (1) トヨパラックス A50 は、平均炭素鎖が 24.5 の“長鎖”塩素化パラフィンで常温で無臭、淡黄色、高粘性の液体です。水には不溶です。
- (2) 塩ビ樹脂の可塑剤として伸び特性や耐老化性の改善に用いられるほか、塗料添加剤、ゴム配合剤、布地の防炎、防水剤に、また極圧添加剤として切削油にも使用されます。
- (3) 急性毒性(致死)は弱く多量の摂取でなければ、特別の手当ては必要ありません。眼、皮膚に対する刺激はほとんどありません。
- (4) 水生環境有害性は、分子量が高く、生体へほとんど吸収されないため、急性及び慢性とも弱いと判断されます。
- (5) 通常の手扱いはおよび貯蔵条件下では安定です。
- (6) 取扱いは保護手袋、保護メガネを着用してください。
- (7) ・皮膚に付着した場合は、水と石鹼で洗い流してください。  
 ・眼に入った場合は、水で洗浄し、製品を洗い流してください。痛み等が残る場合は、医師の手当てを受けてください。  
 ・多量に摂取した場合は、医師の診断・処置を受けてください。

### 2. 化学的特性 (CHEMICAL IDENTITY)

製品名	トヨパラックス A50		
一般名	(長鎖) 塩素化パラフィン		
化学名	(長鎖) 塩素化パラフィン、(Long-Chain) Chlorinated Paraffin		
CAS 番号	85049-26-9 (炭素鎖 16~35 の塩素化パラフィン)		
その他の番号	化審法 (2)-71	安衛法 既存物質	EC 番号 285-195-2、264-150-0
化学式	$C_nH_{2n+2-x}Cl_x$ (平均 $n=24.5$ 、塩素含有量 49~53%)		

### 3. 使用・用途と適用 (USES AND APPLICATIONS)

塩ビ樹脂の可塑剤として伸び特性や耐老化性の改善に用いられるほか、塗料添加剤、ゴム配合剤、布地の防炎、防水剤に、また極圧添加剤として切削油にも使用されます。

### 4. 物理化学的特性 (PHYSICAL / CHEMICAL PROPERTIES)

外観・色	淡黄色高粘性液体
臭気	無臭
比重 (相対密度)	1.23~1.27 (80℃)
融点 / 沸点	知見なし
水溶解度	不溶
可燃性 / 爆発性	不燃性、爆発性なし
引火点	不燃性

### 5. 健康への影響 (HEALTH EFFECTS)

項目	結果
急性毒性 経口 / 吸入 / 経皮	ラットを用いた経口急性毒性試験は大変弱い値を示しています。
刺激性 / 腐食性 皮膚 / 眼 / 呼吸器	動物を用いる皮膚刺激、眼刺激性試験ではともに刺激はみられませんでした。
感作性 (アレルギー性) 皮膚 / 呼吸器	適切に評価できる試験結果はありません。
反復投与毒性 経口 / 吸入 / 経皮	適切に評価できる試験結果はありません。
遺伝毒性 / 変異原性	動物細胞や細菌を用いた試験は陰性でした。
発がん性	適切に評価できる試験結果はありません。
生殖毒性	適切に評価できる試験結果はありません。

## 6. 環境に対する影響 (ENVIRONMENTAL EFFECTS)

影響評価	結果
水生環境有害性（急性）	分子量が高く生体へほとんど吸収されないため水生環境有害性（急性）は弱いと判断されます。
水生環境有害性（慢性）	分子量が高く生体へほとんど吸収されないため水生環境有害性（慢性）は弱いと判断されます。
生分解性	適切に評価できる試験結果はありません。
生物蓄積性	適切に評価できる試験結果はありません。

## 7. 暴露 (EXPOSURE)

暴露の対象	暴露の可能性
産業（作業員）	本物質の製造は閉鎖系で行われますが、サンプリング等、また使用の際には暴露の可能性がありますので、防護対策が必要です。対策は「8. 推奨するリスク管理措置」をご参照ください。
消費者	当社では本物質及びそれを含む最終製品を直接消費者へ販売は行っていませんが川下ユーザーの製品中の防炎剤、防水剤等の一成分として暴露される可能性があります。
環境	本物質の製造は閉鎖系で行われていますが、サンプリング等で少量環境中へ排出される恐れがあります。

## 8. 推奨するリスク管理措置 (RISK MANAGERMENTS)

作業員の健康を守るため、眼の保護、皮膚の保護、吸入の防止を図る必要があります。

対象		推奨するリスク管理措置
産業	眼の保護	眼の保護のため、ゴーグル型保護メガネまたは防災面を着用してください。
	皮膚の保護	皮膚の保護には多くの種類の保護具が存在します。ゴムまたは樹脂製の保護手袋、アームスリーブ、保護前掛け、保護長靴、全身保護衣、ヘッドカバー等があり、これらを状況に応じて適宜選択してください。
	吸入の防止	酸性用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器等を使用してください。

応急措置	<p>(1) 皮膚に付着した場合： 水および石鹼で洗い流してください。</p> <p>(2) 目に入った場合： 水で洗浄を行い、洗い流してください。痛み等が残る場合には、医師の診断・処置を受けてください。</p>
消火作業	着火しません。
漏出時の措置	<p>(1) 人体に対する注意 作業の際には、保護具を着用し、皮膚付着を防いでください。</p> <p>(2) 環境に対する注意 できる限り回収してください。</p>
取扱い・保管	<p>(1) 取扱い 眼、皮膚、衣類に付けないでください。 取扱いは、保護具を着用し、換気のよい場所で行ってください。 漏れ、あふれ、飛散しないようにしてください。</p> <p>(2) 保管 冷暗所で容器を密閉し保管してください。</p>
消費者	消費者向け製品の個々の製品については、その取扱い注意書きをご参照ください。
環境	製造は閉鎖系で行われますので製造時の環境への排出はきわめて少ないと思われまます。消費者製品からの環境への排出の可能性がありますが、「6. 環境に対する影響」に記載したように、毒性は急性、慢性とも弱く、環境への影響は少ないと考えられます。

## 9. 政府機関等のレビュー (STATE AGENCY REVIEW)

UNEP / ILO / WHO	EHC No. 181 Chlorinated paraffins (1996)
OECD	SIDS Initial Assessment Report for SIAM-29, Long-Chain Chlorinated Paraffins (LCCPs) (2009)

**10. 法規制 / 分類および表示**
**(REGULATORY INFORMATION / CLASSIFICATION AND LABELLING)**
**(1) 法規制**

法規等	規制状況
安衛法	該当しません。
毒劇法	該当しません。
PRTR 法	第一種指定化学物質は「炭素数が 10 から 13 までのもの及びその混合物に限る。」ため該当しません。
化審法	第一種特定化学物質は「炭素数が 10 から 13 までのものであつて、塩素の含有量が全重量の 48 パーセントを超えるものに限る。」ため該当しません。

**(2) 分類と表示**

GHS 分類において危険有害性を示す項目はありません。

**11. 連絡先 (CONTACT INFORMATION WITHIN COMPANY)**

会社名	東ソー株式会社
住所	東京都港区芝 3-8-2
担当部門	環境保安・品質保証部
電話番号/FAX 番号	03-5427-5127 / 03-5427-5203

**12. 日付 (DATE OF ISSUE / REVISION)**

制定	2030 年 3 月 10 日
改訂	

**お断り (DISCLAIMER)**

安全性要約書は、化学産業界の自主的化学品管理の取組み (GPS / JIPS=Global Product Strategy / Japan Initiative of Product Stewardship) の一環として作成されたものです。安全性要約書の目的は、対象製品の概要情報を提供することであり、リスク評価のプロセス及びヒト健康や環境への影響などの専門的な情報を詳しく提供するものではありません。また、通常の使用法として想定された範囲内に関する安全性情報を提供するものであり、大量摂取、大量流出を伴う事故等の健康影響や環境影響については言及しておりません。なお、記載内容は現時点で入手できる法令、資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、その正確性を保証するものではありません。